

# CASHLESS SYSTEM AND PORTABLE SET USED FOR THE SYSTEM

Patentnummer: JP9116960  
Publikationsdatum: 1997-05-02  
Uppfinnare: INOUE TAKESHI; UCHIJIMA MAKOTO  
Sökande: FUJITSU LTD  
Sökt patent:  JP9116960  
Ansökningsnummer: JP19950270227 19951018  
Prioritetsnummer:  
IPC klassifikation: H04Q7/38 ; G06F17/60 ; G06F19/00 ; G07D9/00  
EC klassifikation:  
Ekvivalenter:

## Utdrag

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To allow a single communication terminal equipment to have cashless provision for payment of all charges.

**SOLUTION:** A user (a) calls ID information to a financial institution 3 by using a portable equipment 1 and the financial institution 3 conducts cash processing between corresponding accounts based on information relating to ID information and transaction of the user. Or a user (b) uses the portable equipment 1 to be connected to a communication terminal equipment 2 and makes a call to the financial institution 3 by using the portable equipment or a communication terminal equipment after the connection to inform the information of the user (a) relating to the ID information and transaction and the financial institution 3 conducts cash processing between corresponding accounts based on the ID information and transaction of the user (a).

Data från [esp@cenet](mailto:esp@cenet) testdatabas - I2

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-116960

(43)公開日 平成9年(1997)5月2日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
H 04 Q 7/38			H 04 B 7/26	109 S
G 06 F 17/60			G 07 D 9/00	451 C
19/00			G 06 F 15/21	340 Z
G 07 D 9/00	451		15/30	C

360

審査請求 未請求 請求項の数 6 O.L (全 16 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号	特願平7-270227	(71)出願人	000005223 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番 1号
(22)出願日	平成7年(1995)10月18日	(72)発明者	井上 武志 栃木県小山市城東3丁目28番1号 富士通 デジタル・テクノロジ株式会社内
		(72)発明者	内島 誠 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内
		(74)代理人	弁理士 井桁 貞一

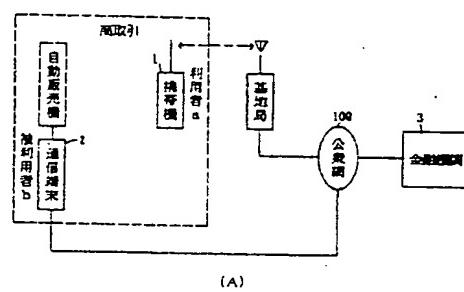
(54)【発明の名称】 キャッシュレスシステム及び該システムで使用する携帯機

(57)【要約】 (修正有)

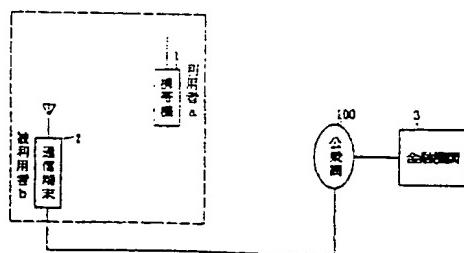
【課題】 単一の通信端末であらゆる料金の支払にキャッシュレスで対応できるようにする。

【解決手段】 利用者aはID情報を送信可能な携帯機1により金融機関3に発呼びし、金融機関は利用者のID情報及び取引に係る情報に基づき各対応する口座間で入出金に係る処理を行う(A)。又は、利用者bは携帯機1により通信端末装置2と接続し、接続後に、携帯機又は通信端末装置より金融機関に発呼びし、利用者aのID情報及び取引に係る情報を通知し、金融機関は利用者aのID情報及び取引に係る情報に基づき各対応する口座間で入出金に係る処理を行う(B)。

本発明の原理を説明する図



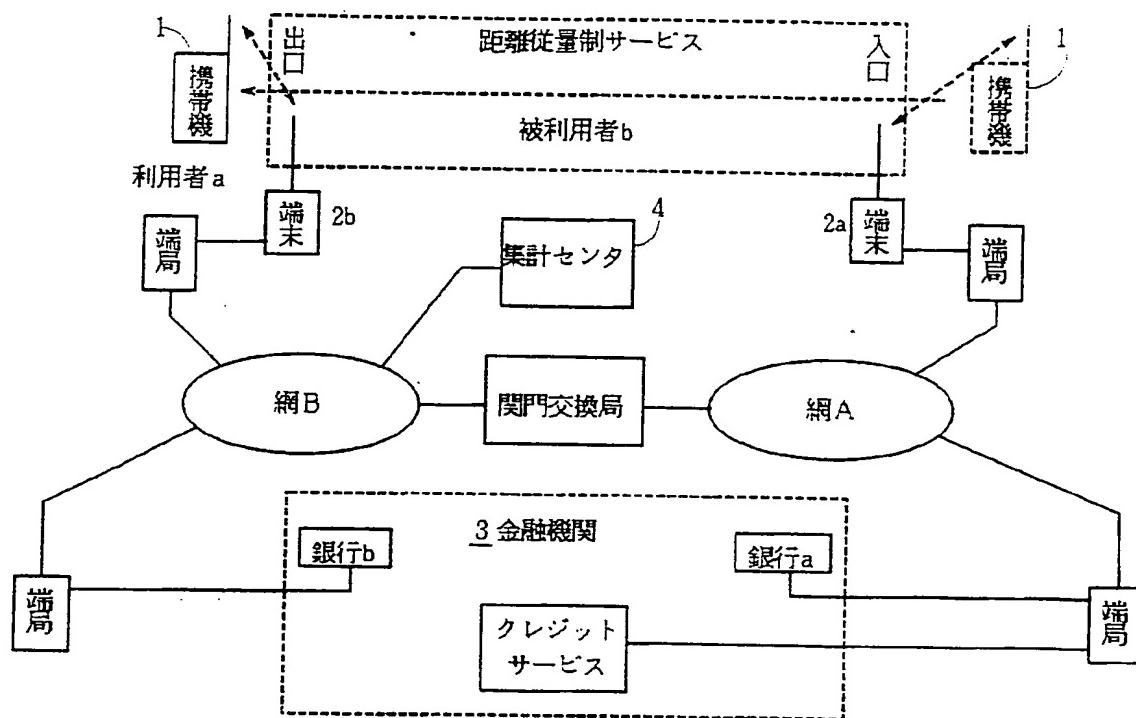
(A)



(B)

【図10】

第4の実施の形態によるシステム構成を示す図



フロントページの続き

(51) Int.C1.6

識別記号 庁内整理番号

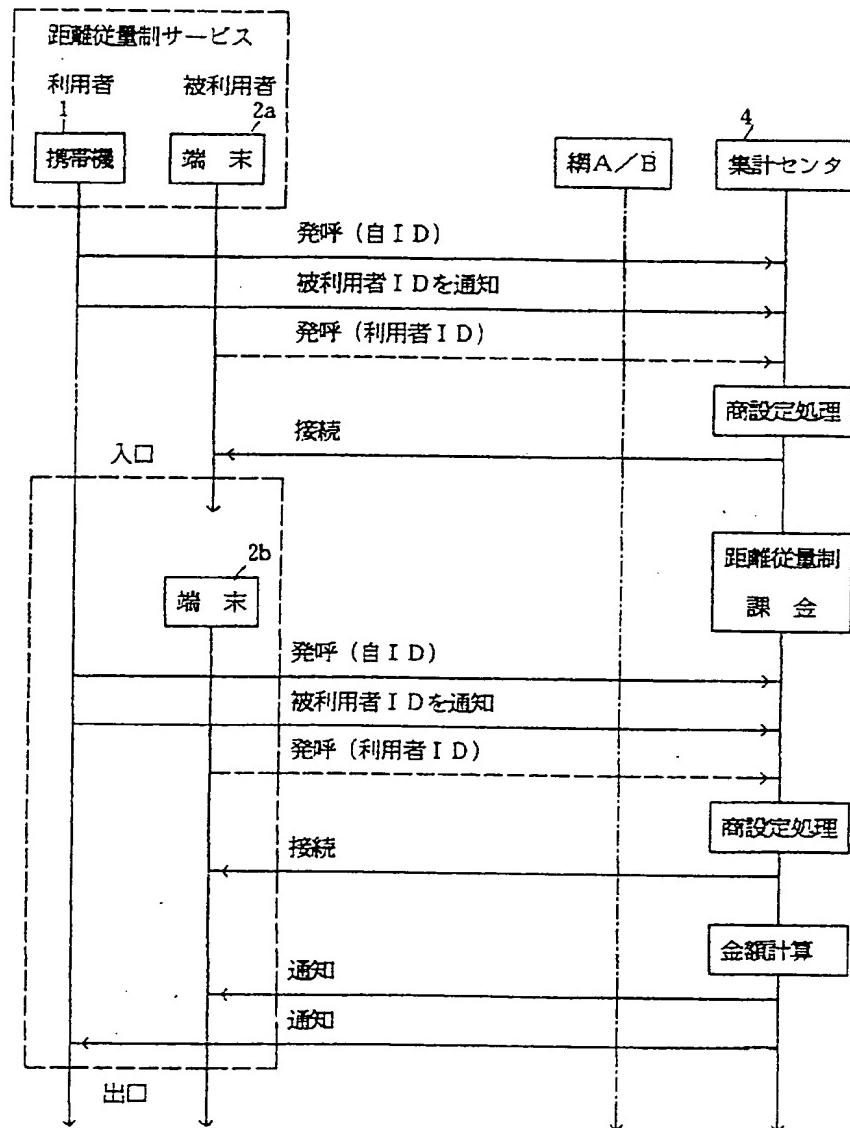
F I  
H 0 4 Q 7/04

技術表示箇所

D

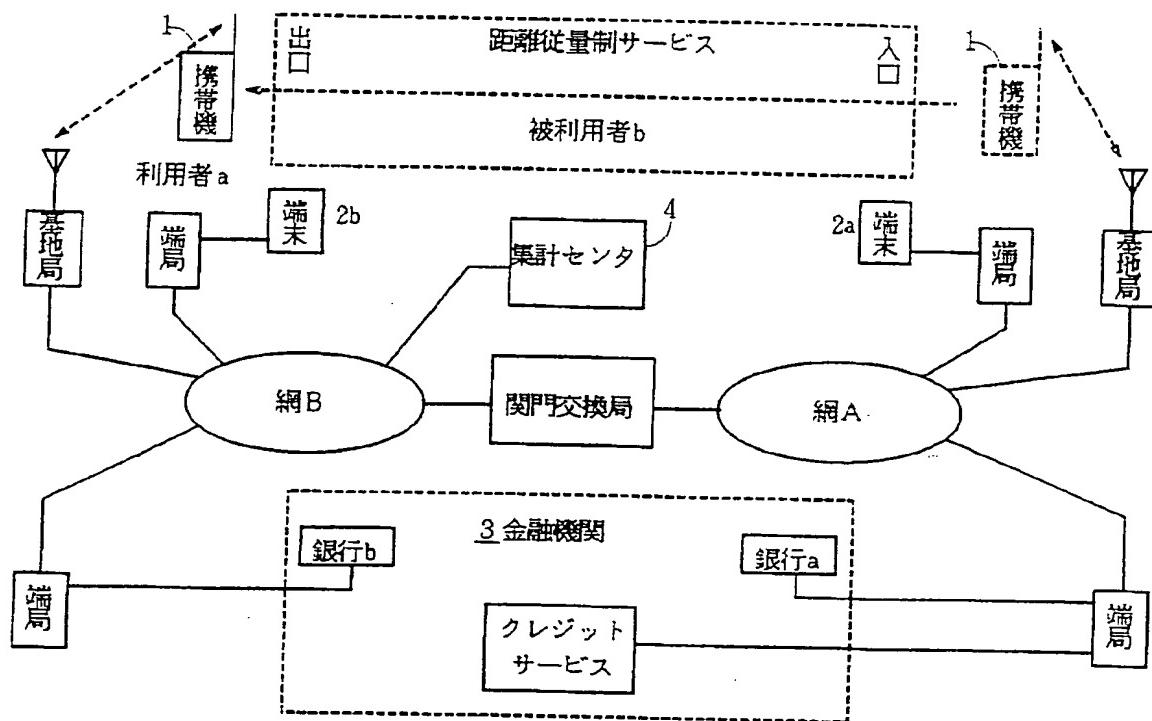
【図9】

第3の実施の形態による通信動作を説明する図



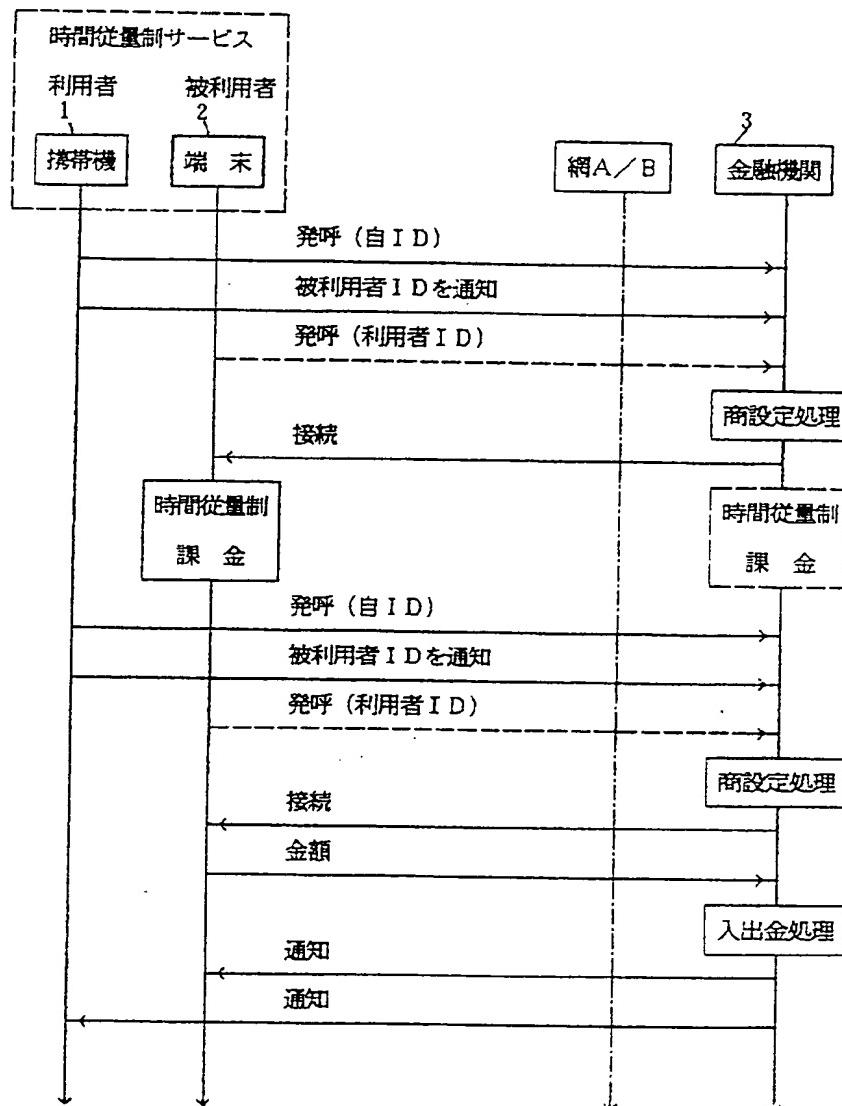
【図8】

第3の実施の形態によるシステム構成を示す図



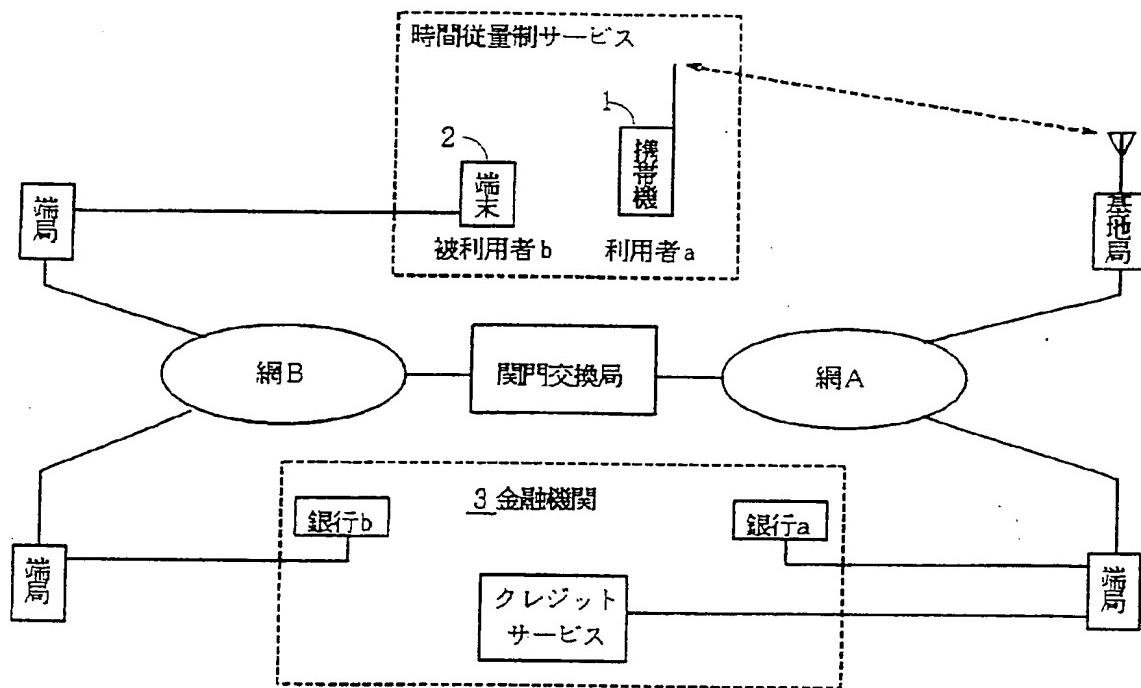
【図7】

第2の実施の形態による通信動作を説明する図



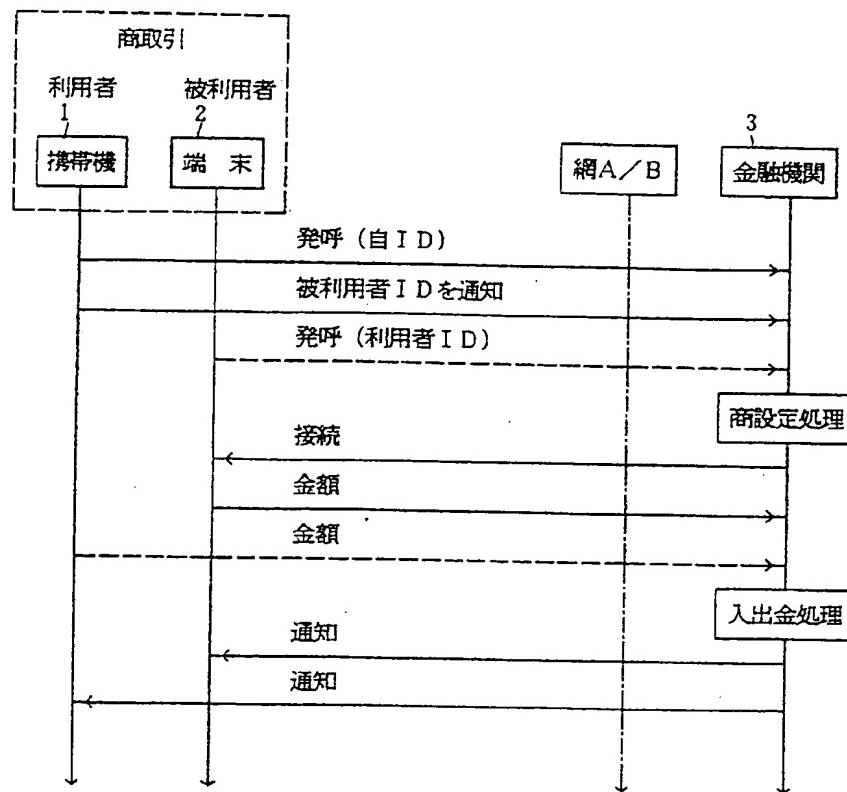
【図6】

第2の実施の形態によるシステム構成を示す図



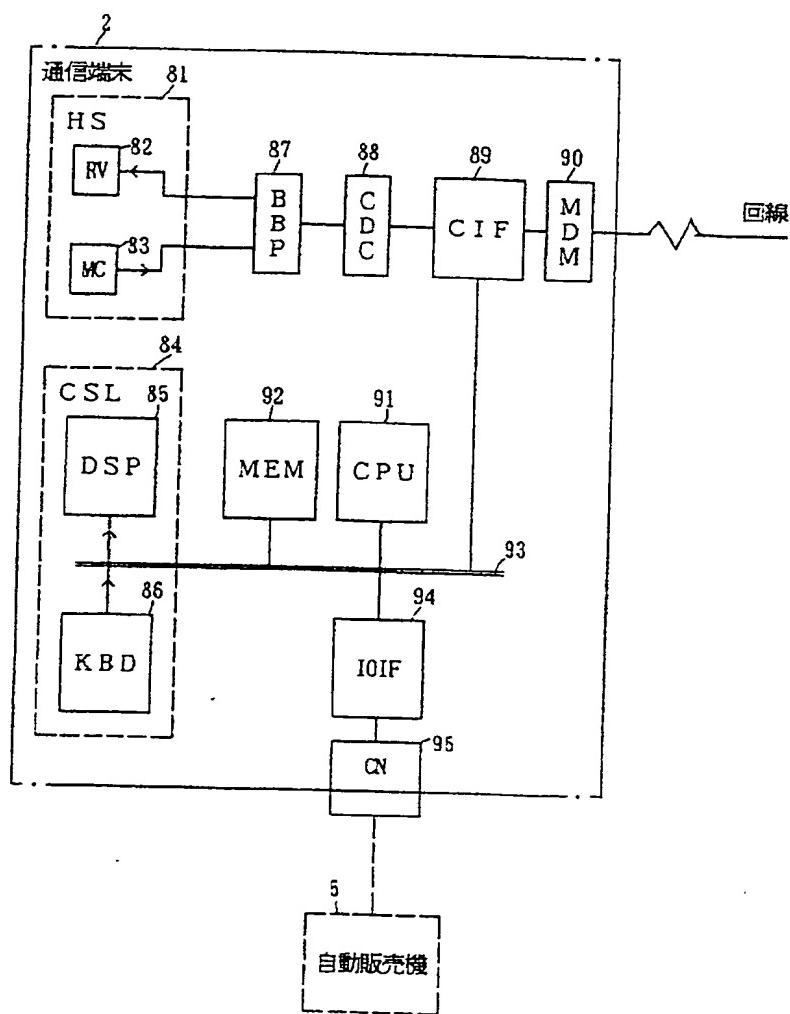
【図5】

第1の実施の形態による通信動作を説明する図



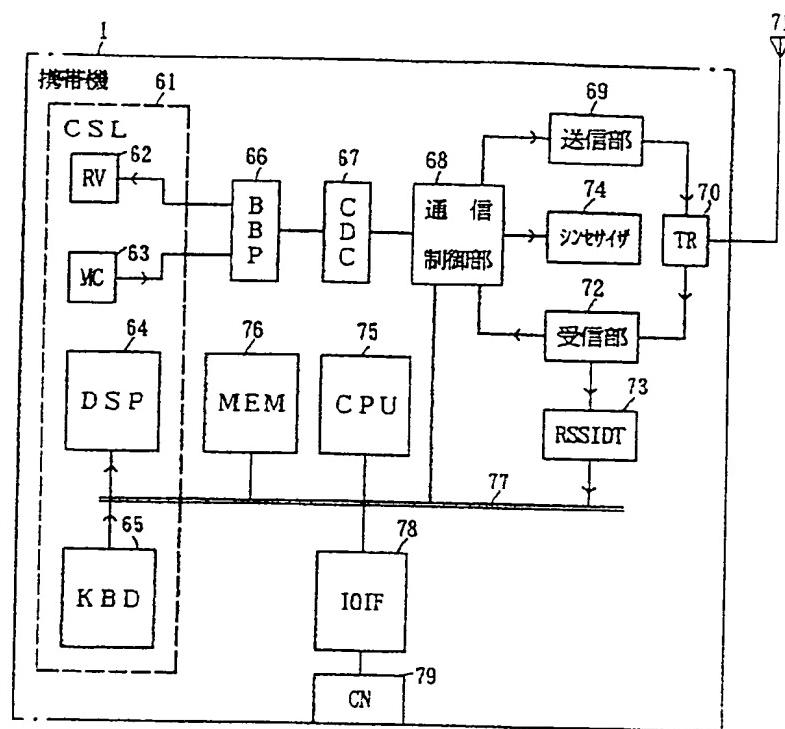
【図4】

実施の形態による通信端末を説明する図



【図3】

実施の形態による携帯機を説明する図



【図3】図3は実施の形態による一例の携帯機を説明する図である。

【図4】図4は実施の形態による一例の通信端末装置を説明する図である。

【図5】図5は第1の実施の形態による通信動作を説明する図である。

【図6】図6は第2の実施の形態によるシステム構成を示す図である。

【図7】図7は第2の実施の形態による通信動作を説明する図である。

【図8】図8は第3の実施の形態によるシステム構成を示す図である。

【図9】図9は第3の実施の形態による通信動作を説明する図である。

【図10】図10は第4の実施の形態によるシステム構成を示す図である。

【符号の説明】

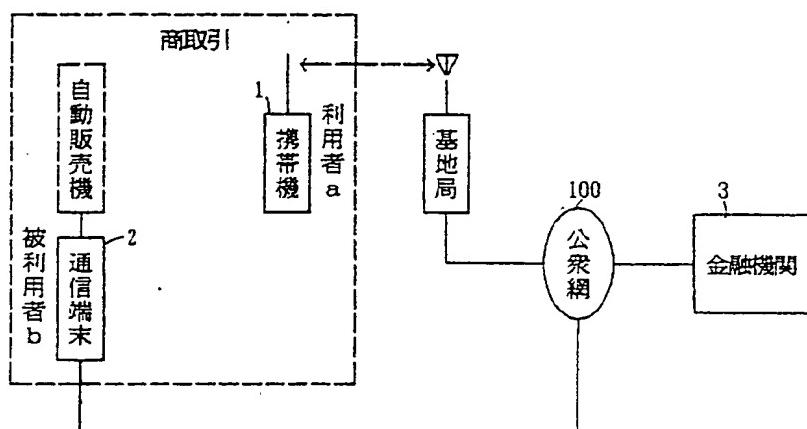
1 携帯機

2 通信端末

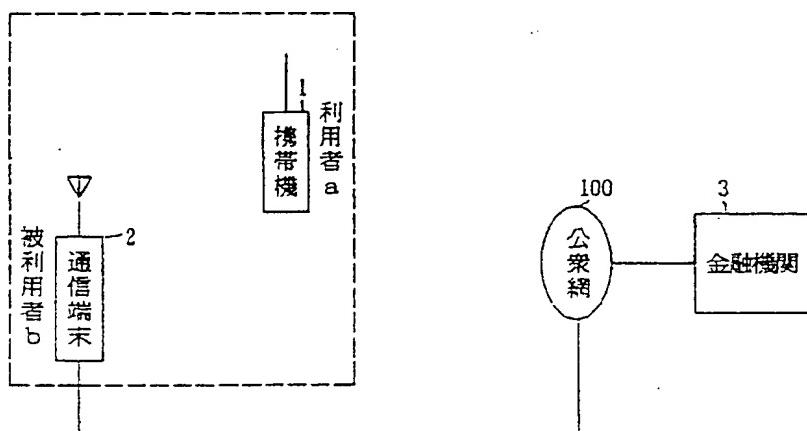
3 金融機関

【図1】

本発明の原理を説明する図



(A)



(B)